

出版デジタル機構、完全子会社ビットウェイと統合

株式会社出版デジタル機構（東京都千代田区神田錦町、代表取締役社長 野副正行、以下 出版デジタル機構）は、2013年10月1日付で完全子会社である株式会社ビットウェイ（東京都台東区台東、代表取締役社長 野副正行、以下 ビットウェイ）を統合いたしましたのでお知らせいたします。

出版デジタル機構は、電子出版ビジネスのインフラ提供（電子書籍制作代行から取次・配信、アーカイビング等）を通して電子出版市場を拡大することを第一の目的として2012年4月に設立いたしました。

国内外の電子書店事業者が次々と新規参入し、電子出版を取り巻く環境が大きく変化しています。その中、事業の立ち上げ、サービス展開のスピードが重要な鍵となることから、電子書籍取次事業における最大手のビットウェイの全株式を7月1日付で取得し、統合を前提として完全子会社化いたしました。

この間、両社の力を最大限に発揮するための統合準備を重ねてきました。この統合により、配信システムの本一化による業務効率の改善を実現すると同時に、専門性の高い人材の確保とインフラ開発体制の強化を図ることで、迅速なサービス提供を目指してまいります。

新生・出版デジタル機構は、取次事業の確立はもとより、クラウドコンピューティング時代に対応した、書誌情報登録・配信、ファイル制作・品質管理・生産管理、ストレージアーカイビング等のためのインフラ事業にも早期に取り組む予定です。

これらを中心に、より多くの方々にお使いいただける、電子書籍配信を支える種々のインフラ構築を行い、電子出版市場の更なる発展に貢献するべく尽力してまいります。

<株式会社出版デジタル機構について>

電子出版ビジネスの市場を拡大し、新規参入を促すインフラを構築すべく設立。あらゆる端末、あらゆる電子書店、あらゆる出版社を結ぶ架け橋となり、電子出版市場をつくっていくことを目的としている。

サービス名称の「pubridge（パブリッジ）」は、Publish（出版）と Bridge（橋）を組み合わせた造語。

商号：株式会社出版デジタル機構（サービス名称：パブリッジ）

所在地：東京都千代田区神田錦町 3-20 錦町トラッドスクエア 10 階

代表取締役社長：野副 正行

設立：2012年4月2日

資本金：39億2800万円

URL：<http://www.pubridge.jp>